

中村公園ワークショップ新聞

11月23日 土曜日
第3号



主催：藤沢市都市整備部
公園課
発行：株式会社ライフ
計画事務所
編集長兼記者兼司会兼
印刷工 石田裕樹

第3回中村公園ワークショップ開催！

グループ毎に 楽しい公園計画が出そう

勤労感謝の日である十一月二十三日、石川市民の家において地域の公園計画をみんなでつくるという「中村公園ワークショップ」が開催された。3回目の今回は、今まで話し合われてきた公園の整備方針や施設について、具体的にどこに配置するかなど、図面上に施設を配置し、公園の平面図をグループ毎にみんなで作り上げていった。

公園プラン案づくり

第3回目のワークショップにあたる今回はいいよ、今まで話した合われてきた地域の現況や公園の整備方針、様々な施設についてのアイディアをふまえ具体的にどのよう公園計画に反映するか等、公園のプランづくりが行われた。作業は、第2回目でメンバーが考

えた様々な施設が描かれた紙を切り抜き、斜面の状況などを考慮して配置していった。「子ども達のための遊具は目が届くここに配置しましょう」「風が強いのでこちら側に防風のための植栽を行ないましょう」など具体的な意見が出されプランは決められていった。



斜面の植栽を考えるメンバー

概算の整備費も算出！

平面図づくりのひととおりの作業が終わった後、どの程度の整備費がかかるか、各々のグループ毎に施設の数や芝生の面積などを数え上げ、いくらかの整備費がかかるのかを計算していった。あずまやが2つなので計ウン百万円という数字に「そんなにするの」と驚きの声が上がっていった。また逆にそんな安いトイレじゃないやだからもっといいトイレを置こうよという声などさまざまな意見が出されていた。

最終案を現在まとめ中

今回出された3つのグループ毎のプランは、次回(12月21日)までに司会の石田氏がそれぞれの違いをまとめ、総合的な計画案を作成することとなっている。したがって次回最終回のワークショップではこのまとめられた計画案を、みんなの意見で修正し、最終の中村公園の姿が決まる予定となっている。当日の最後に石田氏は2つぐらゐの案にまとめられ、現在の、どれも捨てがたいアイディアをどうまとめるか苦悩の日々を送っているという。



地形模型で確認しています

県営公園の利用年4回

「埼玉県営公園 年に一人四回利用」ちよつと前の事ですすが朝日新聞埼玉版に大きく取り上げられた記事です▼実はこの調査は司会の石田氏が担当した調査でした▼さてみなさんはこの数字どうお感じになりましたか▼そんなに利用されているんだ、という方から、もっと利用されていると思ったという方まで様々だと思いましたが、実は調査をしていても感じたのですが、公園というのはリピーターの率が実に多いんですね▼毎日散歩で利用するという人が100人に1人でもいると、年間では365回利用することになるので他の人が一度も利用しなくても100人の平均は、3.65回の利用となってしまうのです▼利用する人は毎日のように利用するし、しない人はまったく利用しない。子供が小さかった時は毎日連れて行っていたけど、子供が大きくなった最近ほとんど利用しなくなったという方も多いのではないのでしょうか▼公園を利用しない人にとっては近くの公園でもあってもなくてもどちらでもいいと思われがちですが、街にまとまった緑があるということは、近くを通っただけでも気持ちのいいものです▼また、災害の際には貴重な避難地になる事を考えれば、直接利用しないでも存在するだけで公園というのは価値がある事だと思いませんか？

Aグループ 公園計画案「花眺風月」



Aグループ 「花眺風月」

斜面を紫陽花やツツジといった花木で彩り、下からや上からの眺めを楽しもうというのが特徴なプランです。

上の芝生広場にはまんやかに大型の遊具を配置し、子ども達の利用に供すると共に、公園を印象づける景観上のポイントとなっています。



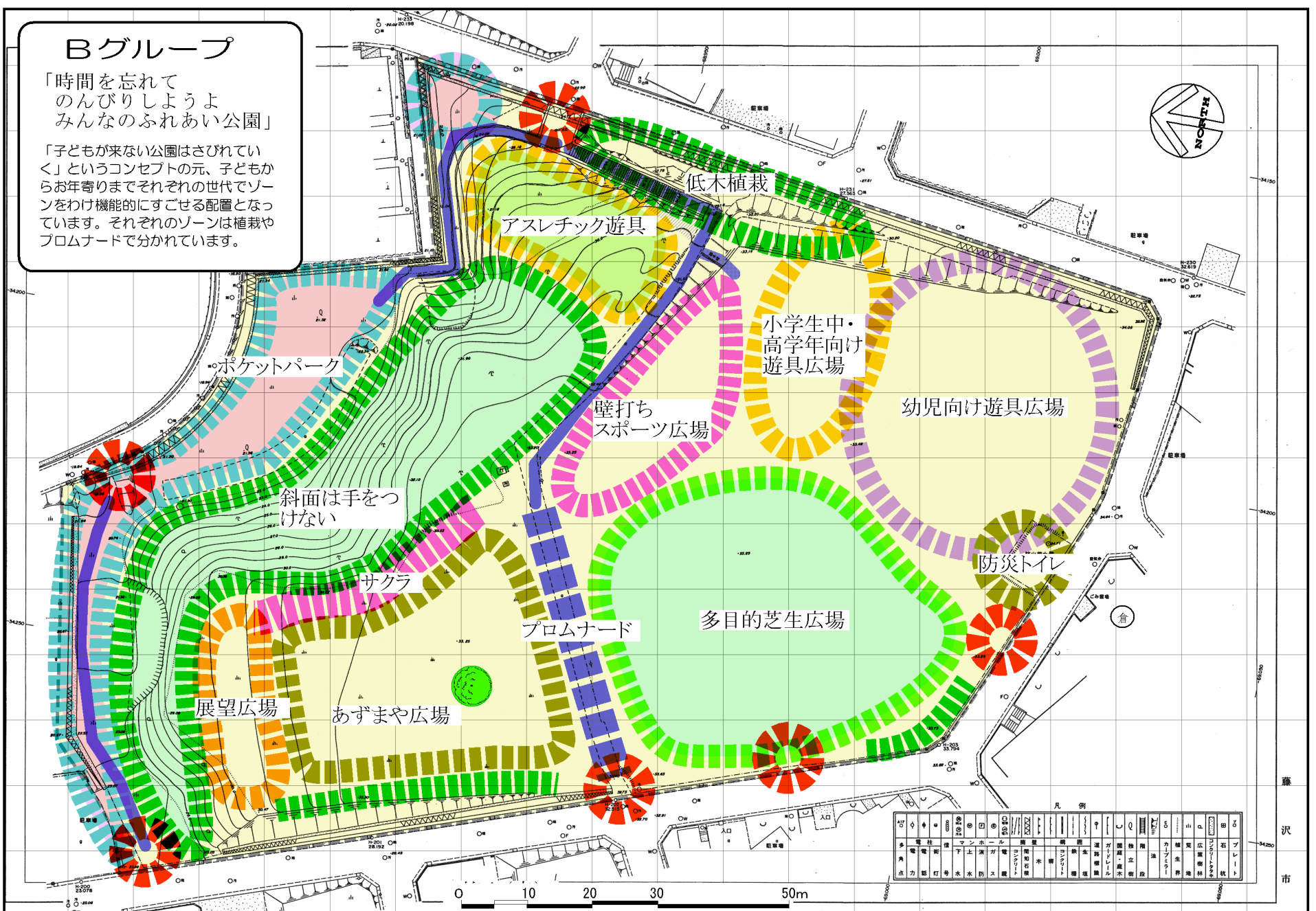
Bグループ 「時間を忘れてのんびりしようよ みんなのふれあい公園」



Bグループ

「時間を忘れて
のんびりしようよ
みんなのふれあい公園」

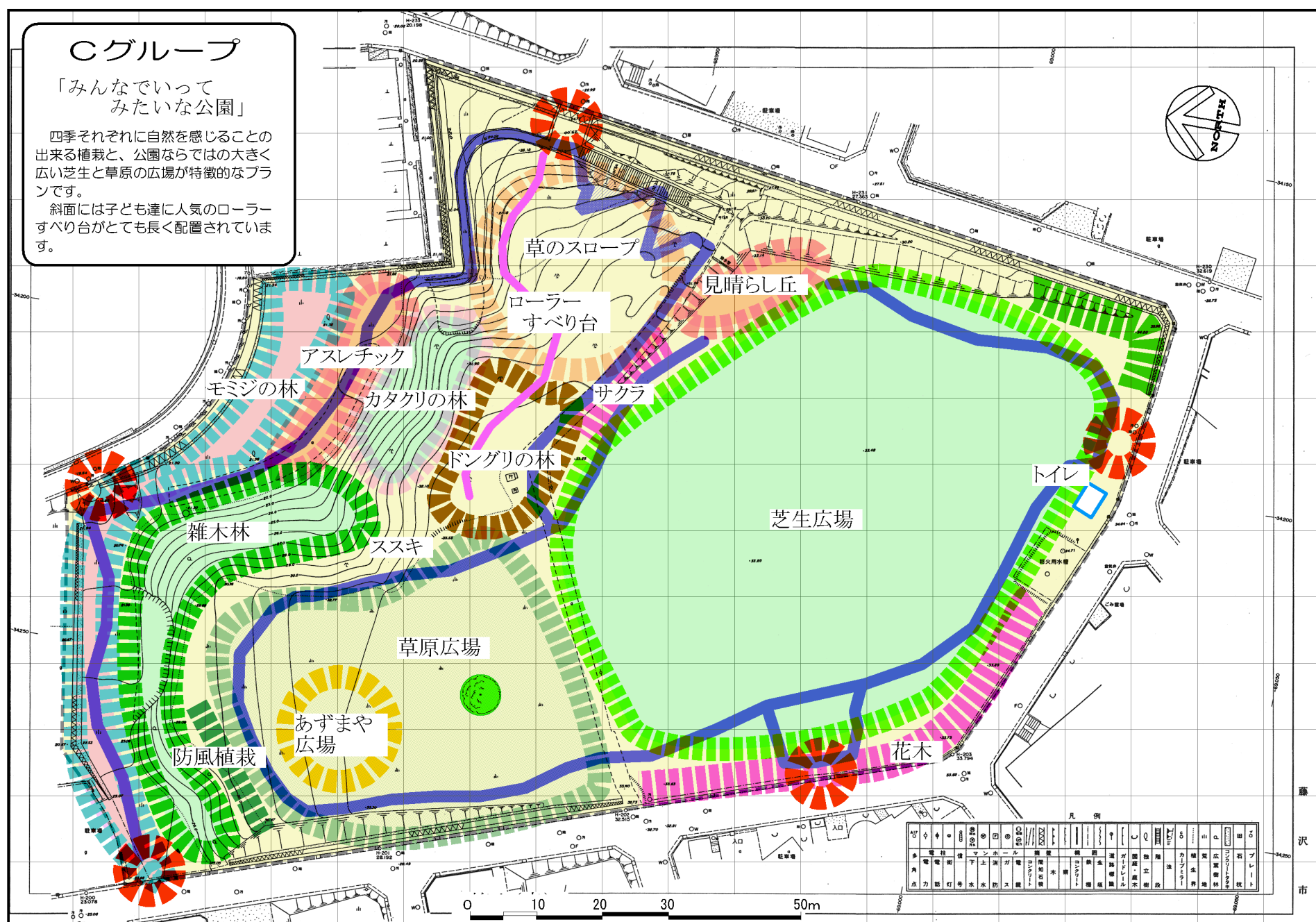
「子どもが来ない公園はさびれていく」というコンセプトの元、子どもからお年寄りまでそれぞれの世代でゾーンをわけ機能的にすごせる配置となっています。それぞれのゾーンは植栽やプロムナードで分かれています。



Cグループ 公園計画案 「みんなでいってみたい公園」



※すいません他のグループと方向をあわせたため文字が逆になってしまいました。



それぞれのグループ案の特徴解説

造成費用や埋蔵文化財の制約から、土地は大きく変えられないという前提があり、3つのグループとも上部に広場をとり階段でつなげる(スロープ案も事務局が検討しましたが長くなりすぎて現実的ではないと判断)というプランとなりました。各グループとも、あの短い時間内で考えたとは思えない素晴らしいアイデアにあふれたプランとなりました。それぞれのプランの特徴を解説します。

Aグループ

「花眺風月」

斜面を紫陽花やツツジといった花木で彩り、上からや下からの眺めを楽しもうというのがプランの特徴です。上の芝生広場

にはまんなかに大型の遊具を配置し子ども達の利用に供するとともに、公園を印象づける景観上のポイントとなっています。テーマのとおり、四季折々風情ある時をすごせる素敵な公園プランとなりました。

「子どもが来ない公園はさびれていく」というコンセプトのもと、子どもからお年寄りまでそれぞれの世代でゾーンを分け機能的にすごせる配置となっています。それぞれのゾーンは植栽やプロムナードで分かれていきます。こんな公園にみんなが集まって遊びたいという想いが強く感じられるプランとなりました。

Bグループ



「時間を忘れてのんびりしようよ みんなのふれあい公園」

Cグループ

「みんなで いっぺん いな公園」

四季それぞれに自然を感じることの出来る特徴ある植栽と、公園ならではの大きくひろい広場が特徴的なプランです。斜面には子ども達に人気のローラーすべり台がとても長く配置されています。

こんな公園が欲しいというみんなのアイデアがほとばしるようなプランとなりました。

Aグループの決定

いよいよ最終回です。

今回のワークショップはいよいよ最終回です。プランを決定します。

全4回を予定しておりました中村公園ワークショップも早いもので次回がいよいよ最終回になってしまいました。

次回は最終的なプランをみんなで決めなくてはなりません。みなさま方のご参加をお待ちしております。よろしく願い致します。

次回は12月21日(土)午後1時30分からです。

いよいよ最終決定です。



回数	テーマ	課題	時期(予定)
第1回	計画地をみんなで知ろう	WSの目的と現況の把握、自己紹介	9月21日(土)
第2回	公園をみんなで考えよう	基本方針の設定	10月26日(土)
第3回	施設配置を考えよう	プラン案の作成	11月23日(土)
第4回	プランを決めよう	プランの修正・決定	12月21日(土) 午後1:30~